

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公開番号】特開 2005-334232 (P2005-334232A)

【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-048

【出願番号】特願 2004-156093 (P2004-156093)

【国際特許分類】

**A 6 1 F 9/007 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 0 1

A 6 1 F 9/00 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 11 日 (2007.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 眼科装置本体 (12、212) と光源ユニット (14、114) を有し、  
 (B) 前記眼科装置本体 (12、212) が、  
 照明光を被検眼 (E) に照明する照明手段 (16) と、  
 前記被検眼 (E) からの反射光を観察する観察手段 (18、218) とを有し、  
 (C) 前記光源ユニット (14、114) が、  
 所定の波長を有する治療光を発生する光源手段 (40、140) と、  
 前記光源手段 (40、140) から発生した治療光を前記被検眼 (E) の所望部位に導  
 光する導光手段 (42、142) と、  
 前記光源手段 (40、140) および前記導光手段 (42、142) を内蔵する筐体 (52) とを有し、  
 (D) 前記筐体 (52) 内において、前記光源手段 (40、140) から直接前記導光  
 手段 (42、142) に治療光が入光する眼科装置。

【請求項 2】

(A) 眼科装置本体 (12、212) と光源ユニット (14、114) を有し、  
 (B) 前記眼科装置本体 (12、212) が、  
 照明光を被検眼 (E) に照明する照明手段 (16) と、  
 前記被検眼 (E) からの反射光を観察する観察手段 (18、218) とを有し、  
 (C) 前記光源ユニット (14、114) が、前記眼科装置本体 (12、212) に対  
 して着脱自在に構成されており、  
 (D) 前記筐体 (52) 内において、前記光源手段 (40、140) から直接前記導光  
 手段 (42、142) に治療光が入光する眼科装置。

【請求項 3】

前記光源ユニット (14、114) と前記眼科装置本体 (12、212) との接合部 (56、256) を、パヨネット式に構成して着脱自在にしたことを特徴とする請求項 2 に記載の眼科装置。

【請求項 4】

前記導光手段 (42、142) が、レンズ群 (46、48、50) を有し、前記光源手

段（４０、１４０）から発生した治療光が、レンズ群（４６、４８、５０）に直接入光することを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の眼科装置。